

スーパーハリー補強計算データ登録表
(一般梁 50本用)

入力チェックの実行

範囲チェックの実行

QL: 梁の長期荷重によるせん断力

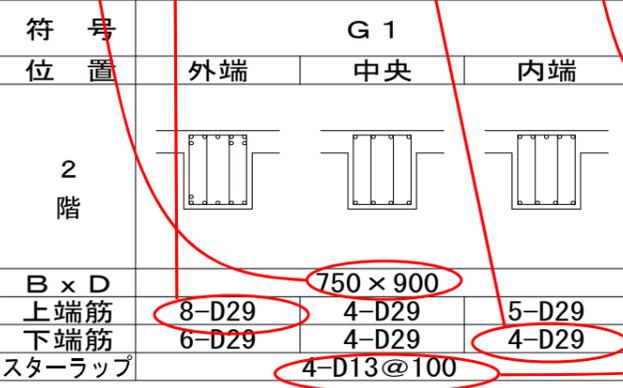
※正常値を半角で入力してください

ゼネコン名	ABC建設株式会社		担当者	コード	構造	RC		計算区分	SH-Z		
現場名	(仮称) Aビル新築工事		代理店	名称	梁種別	一般梁		梁種類	スーパーハリー		
設計事務所名	ABC建設株式会社一級建築士事務所		担当者	コメント	低減係数	スーパーハリー 1.00 高強度鉄筋 0.86		1組	H ≤ 200	ピッチ1 50 mm	
鉄筋の種類	1 D 10 ~ D 16 SD295A		2 D 19 ~ D 25 SD345		3 D 29 ~ D 35 SD390		4組		H ≤ 350	ピッチ2 50 mm	
鉄筋比表示	表示する		表示する		スラブ鉄筋名称 SD295A		スラブ筋断面積 990 mm ²		片側 スーパーハリー枚数 標準 (2枚)		
0.053係数	Qu	QuH	Qu0	Ps・Pw頭打設定	Ps	Pw					
SD295A	普通筋 1.1	高強度筋 1.1	SD345	普通筋 1.1	高強度筋 1.1	SD390	普通筋 1.1	高強度筋 1.1	高強度鉄筋 1.1	普通筋 1.1	高強度筋 1.1

検索対象1	梁幅	150	以上	1500	以下
検索対象2	梁せい	250	以上	3000	以下
検索対象3	うちのリスパン長	1000	以上	10000	以下
検索対象4	S.T.P(端部)本数	2	以上	20	以下
検索対象5	S.T.P(端部)ピッチ	100	以上	250	以下
検索対象6	安全割増係数	1	以上	1.3	以下
鉄筋種別検索対象	S.T.P(端部)鉄筋種別	D			

#	SH-Z計算式	大梁・小梁フラグ	梁名	梁幅(b)×梁せい(D)	上端筋		下端筋		S.T.P(端部)		S.T.P(中央)		コンクリート設計強度	うちのリスパン長(ℓ ₀)	QL	M/Qd	有効補強範囲内のあばら筋組数	安全割増係数	上端筋(2段筋)	上端筋(3段筋)	下端筋(2段筋)	下端筋(3段筋)
					8本×D29	4本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13											
1	自動	大梁	2G1	750 mm × 900 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	5000 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×
2	自動	大梁	2G2	750 mm × 950 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	5200 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
3	自動	大梁	2G3	800 mm × 950 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	4600 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
4	自動	小梁	2CG1	500 mm × 750 mm	4本×D22	4本×D22	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	Fc 27	1500 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
5	自動	小梁	2B1	400 mm × 600 mm	3本×D22	3本×D22	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	Fc 27	3400 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
6	自動	小梁	2B2	400 mm × 600 mm	3本×D19	3本×D19	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	Fc 27	2800 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
7	自動	大梁	3G1	750 mm × 900 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	5000 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
8	自動	大梁	3G2	750 mm × 950 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	5200 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
9	自動	大梁	3G3	800 mm × 950 mm	8本×D29	4本×D29	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	4本×D13	Fc 27	4600 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
10	自動	小梁	3CG1	500 mm × 750 mm	4本×D22	4本×D22	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	Fc 27	1500 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
11	自動	小梁	3B1	400 mm × 600 mm	3本×D19	3本×D19	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	2本×D10	Fc 27	3400 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
12	自動	大梁	RG1	700 mm × 850 mm	7本×D25	4本×D25	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	Fc 24	5000 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
13	自動	大梁	RG2	700 mm × 900 mm	7本×D25	4本×D25	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	Fc 24	5200 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
14	自動	大梁	RG3	750 mm × 900 mm	7本×D25	4本×D25	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	3本×D13	Fc 24	4600 mm	KN		組		本×	本×	本×	本×	
15												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
16												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
17												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
18												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
19												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
20												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
21												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
22												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
23												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
24												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
25												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
26												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
27												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
28												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
29												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
30												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
31												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
32												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
33												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
34												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
35												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
36												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
37												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
38												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
39												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
40												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
41												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
42												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
43												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
44												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
45												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
46												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
47												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
48												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
49												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	
50												Fc		KN		組		本×	本×	本×	本×	

コンクリート設計基準強度 $F_c 27$



- ※1 ゼネコン名、現場名、設計事務所名、鉄筋種別、スラブ筋等の情報を入力します。現場名と鉄筋種別は必ず入力をお願いいたします。なお鉄筋種別1~4は主筋、A~Bはあばら筋の種別です。
- ※2 荒川式の係数、主筋の降伏点強度の割増係数、貫通孔径の設定です。弊社の標準値となっていますので、変更を希望される方は訂正をお願いいたします。無孔梁のせん断耐力算定時に荒川式の係数を0.068として計算する場合は、0.053係数のQu欄を0.068に訂正してください。
- ※3 計算方法は、自動：設計と終局を比較して小さい方を採用します。終局：母材耐力保証設計です。設計：梁曲げ降伏先行設計です。
- ※4 大梁・小梁フラグは、計算方法で「自動」を選択した場合、大梁：自動、小梁：終局で計算となります。
- ※5 主筋の入力については端部のみ(対角線上の組み合わせで和の多い方)を入力します。詳しくは設計マニュアルをご参照ください。
- ※6 計算式が「自動」であばら筋が2種類ある場合は両方とも入力してください。計算式が「設計」の場合は鉄筋量の少ない方のみを、「終局」の場合は鉄筋量の多い方のみを端部側に入力してください。
- ※7 QLの指定がある場合は入力してください。空欄(指定がない)の場合は弊社の積算値で計算いたします。
- ※8 M/Qd、有効補強範囲内のあばら筋組数、安全割増係数(設計マニュアル参照)などのご指定がある場合は入力してください。ない場合は空欄で結構です。
- ※9 主筋を2段筋、3段筋と分けて入力したい場合は、2段筋、3段筋の欄に入力してください。その際は上端筋、下端筋の欄には1段筋の本数のみ入力してください。